

令和5年度とよたシニアアカデミー通年コース 文化工芸学科 7月の講座紹介

今月は、オリジナルの絵本作り。にじみ絵、点と線のさんぽから始まって、立体や人物の描き方、遠近法などを学びました。「分からない～」と言っていた受講生も、最終回では世界に一つだけの本を手に嬉しそうでした。

楽しく描こう！ はじまりは点と線 7月5・12・19・26日（水）



講師：こうむらゆきな 氏



アシスタント：前田一子 氏



皆さんの発想を大事にしましょう



自由に描く…？、頭を柔軟にね…



分からないところは、先生に聞きましょう



だんだんとゴールが見えてきましたね～



何色で塗ろうかしら



「四ツ目綴じ製本」の説明

受講生の感想（抜粋）

- ・今回の講座は、難しかったです。子どもなら自由に描けたでしょうけど、大人は考えすぎてしまい、楽しい感じが出ませんでした。
- ・絵を描く事そのものが久しぶりであったこともあり、小学生気分分で楽しい時間でした。“どうやったら上手く描けるんだろう”などという心配も吹き飛び、講座終了後の仕上がりに期待が高まっています。自分からチャレンジすることのない分野にトライする事ができて良かったです。
- ・点と線をキッカケにして0から新しいものを作り出す、または、偶然の現象から創造する。この様なユニークな発想方法もあるのかと感心した。
- ・初めて「四ツ目綴じの製本」を体験して、とても不思議だったし、よく考えられていて、伝統を感じました。
- ・生活の中にも、物語になる素材があることが分った。また、四ツ目綴じ製本という“日本の技”があることを知って少し感動した。
- ・表、裏の表紙をつけて本が徐々に出来上がっていくのが楽しみです。どのように完成するのか、また途中で別のアイデアが出て来たら、それをプラスすることによって生まれる作品は、当初の想像と全く違うものになるかもしれません…作りながら完成が待ち遠しいです。